

神戸と文楽

河内 厚郎 △文芸・演劇評論家▽ 写真／池田 年夫

前回は、神戸と歌舞伎の関係について、とくに須磨が舞台となる作品について紹介した。歌舞伎と文楽はだいたい演目が重なっているため、前回で紹介した作品群はそのまま文楽の舞台にかけられるものばかり。したがって、文楽の作品にも、須磨を舞台にしたものが多いことになる。『一谷嫩軍記』『彦山権現誓助剣』などはよく上演される演目だ。

神戸は昔、畿内（今の言葉でいうと首都圏）の一角をしめる「摂津」の国に属した。その西南の隅（すみ）にあるから「すみ」という名になったという説もある。

「摂津大掾」という名の、文楽の有名な太夫の句碑が、須磨寺にあるのを、最近になって知った。

「上方芸能」編集次長、森西真弓さんが読売新聞のコラムに載せた文章から援用させてもらおうと、天保七年、大阪に生まれた豊竹摂津大掾（本名・二見金助）は、十代の初めに、三世鶴澤清七に入門。最初は三味線弾きだったが、天性の美声を見込まれて太夫に転向、五世竹本春太夫の門下となる。二十代の半ばに二世竹本越路太夫を襲名し、江戸で修業したが、文久三年に帰阪。めきめき頭角を現して、明治十六年には四十七歳の若さで、文楽座の紋下（責任者）となった。美声に渋味の加わった浄瑠璃で、人情の機微を巧みに語りつけた一代の名太夫として知られ、明治三十六年「摂津大掾」を受領。大正二年に引退、同六年、八十一歳で亡くなった、というこ

とである。摂津大掾は引退後、須磨に住んで、風月を友として句作を楽しみ、悠々の晩年を送ったという。句碑は、没後の大正十二年、遺族によって建てられた。

他にも、花隈の花柳界の芸能を指導して「最後の大師匠」とよばれた三味線の名人、鶴沢道八など、神戸や阪神間に住んだ文楽の名人はたくさんいるが、とくに西宮は「夙川の師匠」といわれた野沢吉兵衛や和泉大夫といった、多くの文楽の芸人が住んだ街である。その西宮の酒蔵で、文楽を上演したいと私が思いついたのは、十年前も前にさかのぼる。西宮神社（あべっさん）周辺が、中世から近世にかけて傀儡師（かいらいし）とよばれた人形遣いの活躍した土地であり、人形芝居のルーツの町だといわれているからだ。

伝えられるところでは、西宮の人形操りは平安時代にかかのぼるともいう。室町期に盛んとなり、安土桃山期から江戸初期にかけて全盛を極め、御所でもたびたび上演されたと記録にある。人形遣い達は多びすかきと呼ばれて、あべっさんの御札を持って諸国を巡り、人形芝居を行なった。その姿は歌舞伎舞踊の『傀儡師』にいきいきと描かれているが、文楽の三番叟の首があべっさんの顔であるのは、その名残だということらしい。

今も、西宮神社境内には人形芝居の祖神を祀る「百太夫神社」が鎮座し、大阪や淡路の人形遣いがしばしば参詣に訪れる。また西宮神社の参道にあるN.T.T.の前に

は、傀儡師の像も建てられている。この西宮の人形操りに、江戸時代初期に流行した浄瑠璃の語り芸や、中国から伝わった三味線の音曲が合体して、今日の文楽の原型となったわけである。実際に、江戸時代の西宮では文楽

の公演がひんばんに行なわれ、大坂や江戸の劇場と同格の扱いをうけたこともあるようだ。そのせいかどうか、近代以降も文楽関係者が多く住み、地元の酒にも「文楽」という銘柄がある。



須磨寺の摂津大掾句碑前で、筆者



西宮神社の参道、MTT前にある
徳嶋師の像

パッカス神にささげる祭礼からギリシア悲劇が出現したように、酒は演劇との関係が深く、古色ゆたかな酒蔵で生酒を飲みながら人形浄瑠璃の粋を味わうのは、いかにも西宮にふさわしいイベントではないか。いうならば人形浄瑠璃の里帰り公演となる。

既に、神戸市灘区の酒蔵をイベント会場に改造した「酒心館」では、豊竹嶋大夫らによ

る素浄瑠璃の会が開かれて、なかなか好評であった。それなら、酒蔵文楽を西宮の名物にしたい、という声が関係者の間に高まってきたのは3年前のことであった。何より喜んだのは、地元に住む人形遣いの吉田文雀師であった。師は私の中学の先輩にあたる。その中学というのが、なんと、清酒メーカーの白鹿が経営している甲陽学院なのだ。文雀師は子供時代から白鹿本社のすぐ近所に住んでいることもあり、おのずと白鹿所有の蔵を使うことになって、私がプロデュースを担当することになった。

文雀師のたつての願いでロースクを使うことになり、これが江戸時代の芝居小屋のふんいきを再現すると、新聞その他で格好のPR材料になった。問題は舞台設備だが、酒蔵といっても現在は博物館のエントランスホールとして使用されており、土産物などを売っている。その売店の一部を外してステージをしつらえたら、びっくりするほど雰囲気のあるステージに生まれ変わった。国立文楽劇場の大道具の人たちのおかげである。

客席数は二百五十。明治のレンガ造りの酒蔵というのはなかなか広い。券売所を控え室に、隣接する美術館に楽屋をおいた。料金は三千円で、生酒サービスがつく(二杯目からは有料)。各紙の阪神版や市政ニュースで募ったところ、約二倍の申し込みがあった。

当日は、二時からリハーサル。べんべんと太掉の音が響いて、何も知らず訪れた一般の来館者が、いったい何事かしらんと驚く顔が愉快だった。開場は六時。六時半から文雀師のレクチャー「西宮・人形・文楽」が約三十分、生酒を楽しむ休憩が二十分、いよいよ『伽羅先代萩』『御殿の段』の上演となる。床は小松大夫と団七。

人形は、文雀、文吾、一暢、和生といった面々。読売テレビが朝のワイド番組用にロケに来てくれた。NHK神戸は約束していたのに来なかった。

ロースクの照明は予想通り効果満点で、昔の芝居小屋のムードが出て、人形の首(かしら)も映えたが、おそらく室温は三十度を超えたはずである。冷房をかけてはいるのだが、入口の開閉がひんぱんなせいで利かないらしい。所用があつて楽屋にいた時、足遣いがひとり倒れたと報告が入った。酸欠かも。長年巡業できたえん年配の人形遣い達はそんなこともない。

終演は八時半。阪急夙川で「ラ・パボー



酒蔵文楽で挨拶する筆者

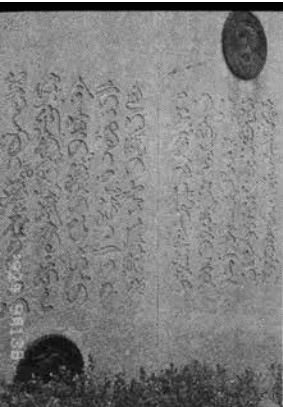
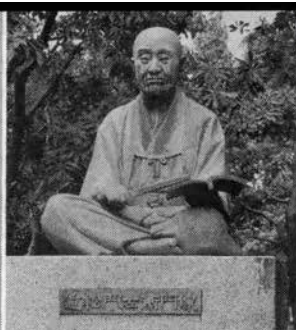
「ニ」という美術喫茶を営む、文雀師の古くからのファンという、品の良い老婦人が花束をささげて、あつという間の二時間が過ぎた。この喫茶店は戦前、東京の新劇俳優たちが関西公演の折、常宿にしたという。野坂昭如氏のエッセイによく登場する店だ。

美術館ロビーにおける打ち上げには、白鹿の辰馬社長や西宮神社の吉井宮司も顔を見せて、出演者はじめ関係者全員に白鹿本社から土産が手渡される。この酒蔵ゾーンのすぐ南は、名だたるヨットハーバーで、堀江謙一氏が太平洋ひとりぼちの旅に船出した、また森繁久弥氏が梅田コマ劇場に出る折、自分のヨットに泊まったという、関西ベイエリアを代表するマリーナである。近く大改築が予定され、既に資本投下が始まっている。付近一帯が高級シティリゾートとしての活性化をめざすなら、当然に酒蔵ライブハウスなどの案も出てこよう。生酒で生演奏を、がキャッチフレーズになるかもしれない。こうしたトレンドイナ環境と垢ぬけた古典芸能とをい

かにうまく融合させていくかが今後の課題だ。関西人というのは、意外と、古典をファッショナブルに演出するのが下手ではなからうか。古典の美的イメージの効用をあまり理解していない。原宿で文楽があつたり、歌舞伎がナウイファッションとなる東京のノウハウに学ぶべきところもあるのではないだろうか。

酒蔵文楽を終えてから思いついたのが、もし西宮市が人形芝居のふるさとであることをもっと全国に知らせたいのなら、高校野球の始球式で文楽人形にボールを投げさせればよいではないか。それは甲子園球場が西宮市にある（これが意外と知られていないので市民は悔しがっている）ことを全国に知らせる絶好のPRにもなるだろうし、甲子園阪神パークではかなり前から全国人形劇フェスティバルを催していることもあまり世間では知られていないから、そうしたイベントを運動させて「百太夫祭」という名の大がかりな祭礼に仕組んでいけば、おとなり尼崎の近松祭に十分対抗できるイベントに発展するはずだ。

右上・尼崎市の近松公園にある近松門左衛門の座像 右下・近松門左衛門の墓のある広済寺入口 左上・阪急塚口駅前にある曾根崎心中のモニュメント 浄瑠璃の床本をあしらっている 左下・近松門左衛門の墓



本紙の小泉編集長は「神戸に歌舞伎座を」という夢を抱いておられると聞くが、西宮文楽振興委員

会の森村暁子代表は「西宮に文楽座を」と夢を語る。最後に、神戸は、豊竹団司が活躍した、女義太夫の盛んな土地であったことを記しておこう。（このほど、三田市に豊竹団司史料館がオープンした）阪急夙川にも明治に活躍した名人、豊竹呂昇の家が残っているが、いま建て替えが進んでいる。

なお、翌92年の酒蔵文楽は「傾城阿波鳴門」と西宮神社を舞台にした「釣女」が、92年は「摂州合邦辻」が上演された。

第一七回 神戸文学賞佳作

連載小説／第二回

一大事

平井 彩花
絵／大橋 良三



(その三)

仁右衛門たちが駆け付けて見ると、田の中の乾き切った白い道に、坊の小さい身体から、ようもこんなにと驚くほどの血が流れ出て、夏の強い陽に焼かれています。その傷口には、既に大きな蠅が何匹もたかり初めていた。

仁右衛門は悪夢の中にいる心地で「早よ、戸板など、持つてこなか。水、汲んで、その辺を浄めえ。」と言う声が自分のものでは無いようだった。

「ほんまに仰天したわ。あんまり暑いんで、旦那さんの用の帰りにな、物陰で休んでると馬の蹄の音がする。何にしろ関わりにはなるまいとそのまま隠れて見とったら、西のぼんが何の遊びをしておったんか飛び出しよった。馬がいなくて、次には乗っていたお侍が何やらわめき声を挙げて、と見る間にバツサリとな。ぼんの小さな身体がまっ二つになるような勢いで。西のぼんはちやほやと育てられよったで、おっとりしよったからなあ。他の子やったら、これはまずいとすぐに逃げたやろうになあ。」と他の者に言っている平助の声だけが妙に生々しく響いた。

△西のVと呼ばれているのは、米山の更に分家で、仁右衛門の屋敷のすぐ西に屋敷があったので、ふだんは西のと呼ばれている、そこそこの田畑を持った結構な百姓だった。

それが子供に恵まれず、神仏に祈るやら喜捨するやらし、それでも甲斐なく、いよいよ、これは石女、夫婦別れかという瀬戸際になって、恵まれたのが男子なので、その喜びようといったらなかつた。

松吉という、いかにもめでたそうな名付けをしなげら、ぼんと呼んで、特に嬢さんは懐に抱え込んでなめんばかりの可愛がりようだった。

ぼんとは男の子の事やで、世には仰山おるのに、西の嬢さんは我が子一人と思うてと、陰で笑う者もいたが、

まずは慶事と微笑ましく眺めていた。

その内に、一人出来れば芋蔓と、俗な言葉の通りに、西の嬢さんは、次は女の子を生んでまた身籠っていた。腹もはちきれんばかりの大きさになって、むつきの子も抱えては、さすがに、あれほど可愛がった坊から目を離れたのも無理はない。

いや、西の嬢さんばかりでない。子供らは餓鬼と言われる程、年中腹を空かしているのに、どんな具合になっているのか、暑さ寒さの中言い付けられる用事の合間を縫っては遊びほうけている。

世の中安んじて、何の変事も聞かないような村だ。子供がどこにいようと、一々、気にもかけてはおれない。西のぼんも数え四つの遊びたい盛りで、家に居よという方が無理と言うものだ。いつの間にか、みそつかすながらも村の子供の仲間に入り、遊んでいた時の災難だったらしい。

取りあえず屋敷にぼんの遺骸を運んだものの、身内でもある仁右衛門は、どうしたものか思案がつかかねて、腕組みしたまま考え込んでいた。

女房を始め、屋敷の者は皆、青い顔をして右往左往し、女子衆は涙ぐんでいる。

「ここで、弔やるんですかの。あのまま寝かせると大事なな布団が汚れるんやけど。」

女房が不意に近寄ってきて聞く。

「うむ。」と仁右衛門が頷くと、諦めてぼんの側に戻り、何やら小細工をしている。

女子は、こんな時に、ようも気のまわる事よと、仁右衛門は妙な感心をして見ていた。

そんな事をしている内に、子供たちの注進もあってどこから湧いてくるように、村の衆が集まって来た。村の衆はどうなる事やらと固唾を飲んで、村の長を見ている。

仁右衛門は弔いの言葉に促されて僧の手配をさせる

が、肝心の八左衛門が来ていないのに気がついて問うと、誰も八左衛門に声をかけていないと言う。仁右衛門は半ば呆れながら、西の八左衛門には詳しい事を言わずに、特に嫌には何も言わずに、八左衛門だけを来させるように指図した。

ぼんの惨い有様に若い衆がいきり立ち始めた。

「箱根を越えると鬼がすむと言うが、ほんまに東のもの気の荒いことや、今度来たのはの。物言いもきつうて何にでも喧嘩腰で、威張りくさつて思うていたら案の定こんな事に。」

「なんのわしらとて、虫けらではないわ。刀、槍の一つも隠し持っておる。」

ようやく八左衛門がやって来て、可愛い盛りの坊の、血を流し尽くし干からびた骸に成り果てた、思いがけない無残な有様に目をかっと見開いて、涙一つこぼさずに、ぼんを睨みつけている。

その異様に、皆、ますます高ぶって、その内に、村長の隠し倉には鎌槍・刀どころか冑鎧まで揃っておるそうやと呟く者や、どこも不満は鬱積しておるからには、近郷の衆の助太刀もあらうと言ひ出して、侍相手に一戦でもありそうな按配になってきた。

(その四)

米山仁右衛門はほとほと困り果ててしまった。

仁右衛門は、名が剛右衛門とでもあれば、も少し、ましであつたろうにと思つてゐる程に、氣弱な事を自分で悟つていた。

さすがに両親はよくわかつていて、人の言う事はよく聞いて自分では滅多と話すなと始終言つていたし、せめてもと食ひ物に氣を配つてくれて、身体だけは旦那と言われるのにふさわしく大きくなつたが、氣の小さいのはそのままで。

それでも、よく話を聞き寡黙にしておれば、物事は何となくうまくいき、平穩な世で百姓をしておれるのは、ありがたいと仁右衛門は思つてゐる。

至極若い頃、一度だけ侍奉公に出てみたが、腰に刃物をぶら下げて肩肘張つての暮らしは窮屈なばかりで、劍術の稽古なんぞ、相手が白刃を振り回して迫つて来ると思つただけで腰の抜ける思いがする。まして親が唯一の誇りとしてゐるご先祖様のような、武者として戦場を行き来するなんぞ、滅相もない。

しかし今度ばかりはそうは行くまいと、漏れそうになる溜め息を何とか飲み込んでいた。

殿様に刃向かうなんぞとんでも無い。たまに身内が集まり、諸方を回る商人になつた者などもその中におつたりして話を聞くに、世の中はかつちりと固まり、それを崩さんように方々で、藩やら、御公儀が様々な仕組みを作り、それは仁右衛門なんぞの理解もできぬ、恐ろしいなものと思える。それに刃向かうと、考えただけで身震いが出る。

しかしそれで黙つたままと言う事にしては、この場が納まるまい。なめられるようになれば、村の長として村の束ねどころか家中も束ねられまい。あの平助にしたところで、目を放せばすぐ怠けようとする。今度も物陰で怠けておつたに違ひない。しかしながら他の者も皆そうで、やらなくて良いものなら屁もせぬのが人情と言うところか。が、それでは賦役も貢租もたちゆかなくなり、やはり束ねるこちらの首が危ない。

その平助が、真つ先に知らせたのを手柄顔に、他の者にもう何度となくその時の事を興奮してしゃべりながら、金壺眼を忙しなく瞬いて、こちらを見ている。お調子者が、と仁右衛門は小面憎くなるが、八つ当たりするわけにもいかない。

他の者も話の合間に村の長が何を言うかと見てゐる。僧を呼びにやつたりして時を稼いでゐるが、仁右衛門の背を冷汗が流れてゐた。

湯茶をふるまい、坊主に経の一つも読んでもらううちに、寺の鐘の音も聞こえてきて陽もかげり、今度は夕飯



の支度をしなくてはならない。

食事の用意を命じた女房は、出費がかさみ、忙しゅうて機嫌が悪い。取り入れ前の乏しい折の、突然の出費の痛さはよくわかるが、何とか穏便にまらめたい時とて、けちるわけにはいかない。しかし酒はいるのかという問いには、やっとの思いで、京から背負うて来た濁り酒を買ったのにと、仁右衛門は手を振らんばかりに止どめた。

この時期、仁右衛門の家でも、雑穀の混じった飯に漬け物、それによく味噌の色が付いたかどうかの汁に摘み草の浮いたのを出すのが精一杯だ。

それでも、皆、何やら分らない物の切れ端を煮込んだ薄い雑炊がやっとの時に、もっけの幸いと、そのよく食う事と言ったらなかった。

一応、ほんの一瞬の遠慮はしてみせても、後は話し声も絶えて、ひたすら漬け物を噛み砕き、飯や汁をすすり込む。

瞬く間に空になっていく鍋釜に、仁右衛門と女房はハラハラしていた。

腹に物が入ったとたんに、若い衆はますます盛んに気炎を上げる。

(こんな時に酒が入るなんぞ、とんでもない。皆、それでのうても暑い最中に何やら、釜の中で茹でられている芋のようになつとるわ。)と村人の、汗でぬめぬめと光る、興奮で赤くなった顔を茫然と仁右衛門は見ていた。

若いのは、皆、爺様たちのいくさがたりを聞いて育ったが、戦場の本当の恐ろしさは知らずにいる。その話ときたらあちこちの風聞が混じり、それが真ならば今頃は皆、天下様といった具合の、とてつもない大法螺となっている。

いや年寄りの話ばかりではなく、近頃は平家の哀れな話なんぞ見向きもされず、威勢の良いのが好まれて、流れ芸人の小屋などでも、特にこの畿内では豊臣が地から天を取るような栄華の戦話が流行っている。

それを聞き育ち、わしもこの身の力を試し、一朝の栄華でも良いから味わって見たいものと、少しでも気概のある男子なら、世が世ならばと、心中密かに思わずにはおれまいが、こんな時にたたととはと、まるでいくさあそびにうつをぬかす子供のような村人の有様を見ながら、仁右衛門は、何もかも恨めしく思った。

こんな時に、夕立が一降りし、文字通り水入りとなつて、何となく通夜をする雰囲気になって来たのは幸だった。通夜は八左衛門の家ですべきなのだろうが、今だに嬬にも知らせず、そんなわけにもいかない。

その八左衛門は何を考えているのか、腕を組み黙って松吉を見ている。

何しろ八左衛門は、子が無くば夫婦別れかと言って身内が集まったとき、別れはせぬと、あわや大立ち回りになるところだったというほど気の荒い男、嬬にも惚れており、松吉を可愛がるのも一通りではなかっただけに、今の心持ちといったらやり場も無かろうと思われる。その上若い者は、口々に今度来た侍達の悪口やら、藩のやりようへの不満を言い立てている。仁右衛門は、間に乘じて、討ち入る事にでもなりはせぬかとやきもきして、聞き耳を立てていた。

(つづく)

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子倶楽部新会員 継続会員ご案内

■神戸っ子倶楽部では、ただ今会員を募集しています。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。また、神戸っ子倶楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様々な情報を提供します。さらに年2回、文化性の高いイベント（コンサート、美術展、演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。年会費（入会金を含む）は1万円です。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確めのうえ、継続会員として年会費をお納めください。

□入会申込・お問合せは—

〒650 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9 F
TEL・078-331-2246
FAX・078-331-2795

★ Kobecco club 会員情報

新神戸オリエンタル劇場開場5周年記念公演
ローソンスペシャル

ソング・オブ・サイゴン

10/7(木)▶24(日)

S席¥7,000 A席¥4,000

CAST 鳳 蘭
上條 恒彦
大谷 亮介
他



10月8日(金)の夜の公演に会員
(10/8現在)ご本人様に限り、
S席¥7,000を¥2,000でご優待
いたします。
(ビジターは¥7,000)

新神戸オリエンタル劇場
開場5周年記念公演

“迷子の天使たち”

9月10日(金)~28日(日)

出演/沢向要士、喜多嶋舞

日色ともゑ、辰己琢郎

S席¥6,500 A席¥3,500

上記各チケットを会員の方に1割引でご優待
神戸っ子倶楽部まで、お問合せ下さい。

●神戸っ子倶楽部第2回

「舌耕会」でディナー・クルーズへ
8月25日午後7時ハーバーランド
発のシルフィード号にて、第2回
「舌耕会」を開催します。



日時 8月25日(水)午後7時発
ところ シルフィード(25名様)
神戸ハーバーランドモザイク1F

料理 フランス料理
会費 1万5千円(乗船料・料理)

※お申込 月刊神戸っ子
小泉美喜子迄 078(331)2246

■上記プレゼントを御希望の方は、ハガキに住所・氏名・会員No.・電話番号・希望のプレゼント
を明記の上、〒650 中央区東町113-1 大神ビル9 F 月刊神戸っ子・神戸っ子倶楽部まで



什錦冷麺

五日冷しそば

風鈴の涼やかな音色が恋しい季節です。自家製手打麺に焼豚、蒸鶏、青菜、錦糸卵、紅生姜をたっぷりのせたこの一品は、栄養も満点の夏の定番メニューです。夏ならではの味をお楽しみ下さい。



広東料理
神戸元町別館牡丹園

本店／神戸市中央区元町通1-11-3 あさひ銀行北側小路西入る

☎ (078) 331-5790・6611 営業時間：平日 11時～14時30分・17時～20時（ラストオーダー）

土・日・祝日 11時～20時（ラストオーダー） 水曜日定休

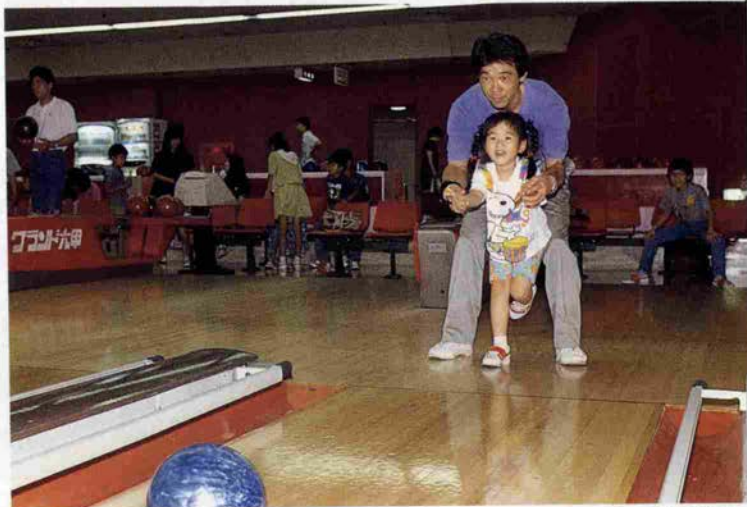
千里阪急店／豊中市新千里東町1-5-1 北大阪急行・千里中央駅前 千里阪急百貨店 5 F

☎ (06) 832-1990 営業時間：平日 11時～19時（ラストオーダー）

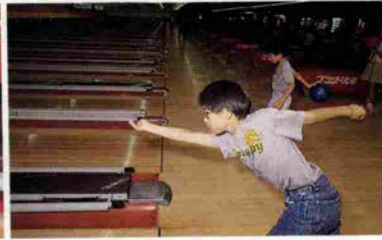
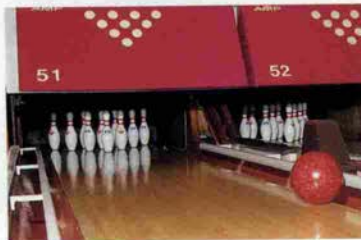
日・祝日 11時～20時（ラストオーダー） 木曜定休

夏、
爽快に。

今年は
家族そろって
ボウリングの夏休み



休日にボウリングを楽しむ林さん親子

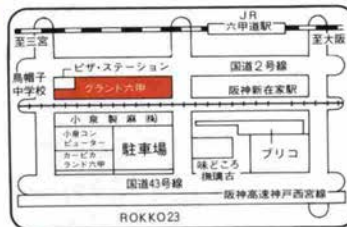


ワンタッチで、ガターが出なくなる“バンパーボウリング”は、今ご家族連れに大人気。小さいお子さんにもターキーは夢じゃない!?



Grand Rokko
グランド六甲
ボウリングセンター
☎078(841)3151代

- 営業時間 9:00～午前1:00
(金・土曜日、休前日)
9:00～午前2:00
- 年中無休
- 駐車場 180台



神戸のうまいもとドリンキング

★日本料理

和名代りん ところや亭
市引店 ☎232-2400 三宮店 ☎332-3003 住吉店 ☎453-3737
兵庫駅前店 ☎575-5306 市引店 ☎303-1188
ポートアイランド店 ☎303-3232

和食くれない
三宮生田新道南側中央K.C.Bビル2F ☎331-0494

たに焼たちばな
三宮センター街(旧南館) ☎331-0572

民芸飲食処 五事
東横町3丁目山側 ☎391-3156

虎焼やきとり トリドリ
中央区北長狭通2-5-1 ☎391-3028
タイシンサントビル2F

どじょう 吾作
中央区元町通2-7-20 ☎321-0539

季節茶屋 一輪一房
中央区三宮町1-8-1 ☎331-2280
さんプラザB1F

天ぷら 天ふじ
中央区下山手通2-11-24 ☎392-3630
大金ビル1F

SAKE & KATSEKI 喜兵衛
中央区山手通2-1-1 ☎242-5411
コーナートビル2階

蟹料理 千石船
さんち商店 ☎391-4875
F・石橋 山手店 ☎392-3854

成伊勢老料理 中納言 新神戸店
中央区北野町1-P A3F ☎262-2882

日本料理 けごん
中央区加納町14-7-24 ☎391-0266

大蔵 藤はら
神戸市中央区元町3-6-14 ☎331-3373

おでん 藤吉
中央区北長狭通1-21-2 ☎392-7321
サンメビルB1

日本料理 西村屋
神戸市中央区磯山通7-11-20 ☎232-3663

日本料理 西村屋 熊内茶寮
神戸市中央区熊内町1-8-23 ☎231-6767
グランドビルB1F

日本料理 海舟
神戸市中央区山手通1-7-8 ☎331-2924
格子屋ビル1F

寿司 又平
東灘区西岡本2-7-3 ☎453-1877
オーキッドコート右衛門1F

生そば・寿し 丸万
中央区中山手通1-27-11 ☎231-7291 ☎221-8379

料亭・ラウンジ 北野異人坂
中央区北野町2-9-22(三幸ビル北) ☎222-2001

日本料理 かじき
中央区中山手通4-2-2 ☎332-6029

日本料理 異人坂花苑
中央区加納町4-9-12 ☎392-7607
クリスタルコート1F

テーブル料理 美食倶楽部
中央区北野町1丁目オー・13F ☎262-2800

宮崎 悠た半
中央区加納町4-9-17 ☎334-1068
幸田ビルB1F

懐石料理 六甲兆陽庵
灘区篠原北2-3-2 ☎882-0666

鮎 悠雅(みやび)
中央区下山手通2-11-23 ☎333-0225

★各国料理

Meat in 帝(MIKADO)
中央区下山手通2-4-13 ☎333-8801-3
高山ビル1F

ステーキハウス グリル 青山
中央区下山手通2-14-5(トアロード) ☎391-4858

スナック料理と世界の民衆音楽の店 ゴックスタッド
中央区山手通3-1-2 同教寺院前 ☎242-0131

スナック ラウンジ 果林
神戸市中央区元町2-2F(元町駅南) ☎331-4558

すていきハウス 長崎
神戸市中央区市引町2-3-16 ☎221-1086

メキシコ料理の店 ティファナ
中央区中山手通1-21-13 ☎242-0043
パールコーポラスビル1F

フランス料理 ビストロドゥリオン
中央区山手通2-13-6 ☎221-2727

レストラン 三光
中央区北長狭通2-8-6 ☎331-0226-321-5861

ステーキハウス れんが亭
中央区下山手通2-5-5 ☎331-7168

BARBECUE & STEAK 六段
中央区元町通3-8-4 ☎331-2108

神戸料理 招き本店
中央区加納町3-2-1 ☎333-4515
I・C・Oビル

ステーキハウス コウベ
中央区北長狭通1-2-3 二鶴ビル3F ☎332-6685

フランス料理と神戸ビール レストランフック
中央区中山手通2-9-11 ☎321-3453
☎321-3207-332-4129

フランス風 夢香亭
中央区東町通2-9-11 ☎321-3453
☎321-3207-332-4129

韓国料理 百済
中央区下山手通3-1-9 ☎392-5458
コスモビル1F

ワインレストラン ロータローゼ
中央区北野町4-9-14 ☎222-3300

韓国宮中料理 鳳仙
中央区北長狭通1-6-10 ☎391-2147
ニューキャスルビル6F

シルクロード料理 スパイスレストラン
三宮町2-3-9 ギャベビル2F ☎331-1734

和黒(わっくく)
中央区中山手通1-24-1 ☎242-0678
ビルサイドテラス1F

フレンチとスペイン料理 エル・パンチョ キタノ
中央区山手通3-2-4 ☎241-1344
アニマル・マンション1F

中国料理 萬壽殿
中央区中山手通2-20-4 ☎231-4531

北イタリア料理 ベルゲン
中央区山手通2-3-2 ☎241-6952

SAPORO BEER RESTAURANT ニューミューベン神戸大使館
三宮生田ロード ☎391-3656

ステーキハウス 伊藤
中央区東通7-11-20 ☎232-3031
大信ビル8F

虎焼ステーキ フランス料理 GOONY KITANO
中央区北野町2-17-18 ☎242-2562
リズミョウビル

ステーキ & ドリンク スター 神戸館
中央区下山手通2-11-13 ☎321-2955
第13ビルビルビル2F(東急ハンズ南)

広東料理 神戸元町別館牡丹園
元町通1丁目協和銀行北側小路西入
☎331-5790-6611

かに専門店 Seafood Crab
北野町1丁目オー・B3F ☎262-2253

中国料理 花咲く街角
北野ハンター商店 中央区中山手通1-27-8 ☎261-8739
藤原台店 神戸市北区藤原台B7-4-1 ☎981-1100

とんかつ 崎崎ステーキ
中央区北長狭通2-12-13生田路 ☎331-0372

Restaurant Chinese 旧居留地15番館
中央区浪花町15 ☎391-1555

広東料理 TEITE(ティテ)
トアロード店 ☎333-6888 南店 ☎321-3332

フランス料理 D.E.N.
中央区山手通1-7-11 ☎222-5708
コーナートビルD.O.S.F

インド料理 シャミアナ
中央区山手通2-3-14 ☎222-1722

フランス料理 ビストロ・ヴァンサンク
中央区山手通3-3-20 ☎271-0280
神戸北野ビル1F

韓国料理 KITANO 高麗
中央区中山手通1-27-12 ☎231-0218

仏蘭西料理 三洋亭
中央区東川崎町1-6-1 ☎360-2234
神戸ハーバーランド モザイク 3F(海側)

★喫茶・菓子

喫茶 たちばな
中央区元町通3-9-2 ☎391-1051

サロン・ド・ティ カレット
元町一番街 ☎321-1739

カフェ・ド・ラセール
新開金庫1F ☎221-8155

ケーキ喫茶 アンテナール
北野本店 中央区中山手通1-22-13 ☎242-3797
神戸店 中央区北長狭通1-10-6 ☎331-8640

宮永のコーヒー にしむら珈琲店
中山手店 中央区中山手通1-26-3 ☎221-1872-231-9524
三宮店 三宮三宮山側 ☎241-2777
センター街店 中央区三宮町10-27 ☎391-0669

北野店 山手通2-11-20 ☎242-2467
(会費制)3F事務所 ☎242-1880
阪急 三宮東口山側 ☎332-5727

喫茶 モーツァルト
中央区山手通2-6-11 ☎241-3961
グランドマンション1F

喫茶 英屋
神戸国際会館前 ☎251-4562

喫茶 英屋
三宮センター街3丁目 ☎391-9006

喫茶 仏蘭西屋
三宮 フラワーロード(神戸市役所前) ☎232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木
三宮 フラワーロード(神戸市役所前) ☎251-3231

TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス
中央区北野町2-8 ☎222-3535

純喫茶 元町サントス
中央区元町通2-3-12 ☎331-1079
元町通一番街南側

炭火焼煎珈琲 珈琲倶楽部
神戸市中央区北長狭通1-10-6 ☎332-2016
(生田路)ラングライトビル1F

炭火焼煎珈琲 コンロン・カフェ
神戸市中央区東横町4-2-2 ☎261-1771
神戸市三宮ビルビルB1

Salon & Cafe BLUE MOUNTAIN
神戸市東区八幡町4-6-16
阪急六甲駅下車南口西側約3分

ブルー・ブティック フルーツバー
神戸市中央区北長狭通4-3-24 ☎331-8584

CARAT(キャラット)
阪急三宮駅東出口山側 ☎331-5141
白鷺ビル3F

★CLUB

C.L.U.B.N.E.N.E
中央区北長狭通1-5-9 ☎331-4143

サロシ コート・ダジュール
中央区中山手通1-22-113 ☎222-7222
ビルサイドテラス4F

c.l.u.b.飛鳥
中央区中山手通1-2-6 ☎331-7627

c.l.u.b.小万
中央区東門前中島ビル3F ☎391-0638-4386

c.l.u.b.なぎさ
中央区北長狭通2-11-2 ☎331-8626

クラブ るらん
中央区中山手通1-3-1 ☎331-2854

C.L.U.B.伽羅
中央区中山手通1-5-6 ☎332-0022
あざみビル1F

C.L.U.B.あざみ
中央区中山手通1-5-6 ☎332-0022
あざみビル2F

C.L.U.B.彩
加納町4-8-7F B1ビル6F ☎392-0156

C.L.U.B.神戸倶楽部
神戸市中央区加納町4-7-11 ☎392-3719
パレ北野ビル2F

ベティシアター かけい
中央区下山手通2-11-13 ☎332-2239

パティ・ラウンジ ファンタジー
中央区下山手通2-10-6 ☎332-3919
オランダ屋2F BAR 3F LOUNGE

★STAND & SNACK

レストランBAR 薔薇屋
中央区北長狭通5-5-22 ☎351-4311

ジャズライブ レストラン ソネ
中央区中山手通1-24-10 ☎221-2055

ジャズライブ アルバトロス
中央区中山手通1-22-10 ☎231-3300
大和ナイトブラス2F

ブッシュンソン エトワ
中央区三宮町3-8-12 ☎332-1755
神戸トアロード三宮センター街
西人口スロートビル3F

スナック 雅子
中央区北長狭通1-5-9 ☎332-0051
K.C.Bビル3F

トム・キャンティ
中央区加納町4-9-17 幸田ビル1F ☎331-2122

カクテル サヴォイ
高瀬山側 テキの店北 ☎331-2615

ミュージック サントノール
トアロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎391-3822
北野店 中央区中山手通1-22-10 ☎221-3886
大和ナイトブラス6F

スナック トスカ
中央区北長狭通1-20-2 ☎391-3930
荏原ビル2F

黒舌洞 でっさん
中央区北長狭通1-5-12 ☎331-6778

STAND マッシュケナダ
中央区中山手通1-4-6 ☎331-5587
ユービルビル4F

Wine and Something 珍地理屋
中央区中山手通1-22-10 ☎242-0288
大和ナイトブラス1F

レジャービル 西村ビル
中央区北長狭通2-12-10(生田路)
スーパーステーション ランダムハウス45rpm
虎通町 楽屋 エスカイクラブ

スタンド かてな
中央区中山手通1-7-10 ☎331-1316
英館ビル1F

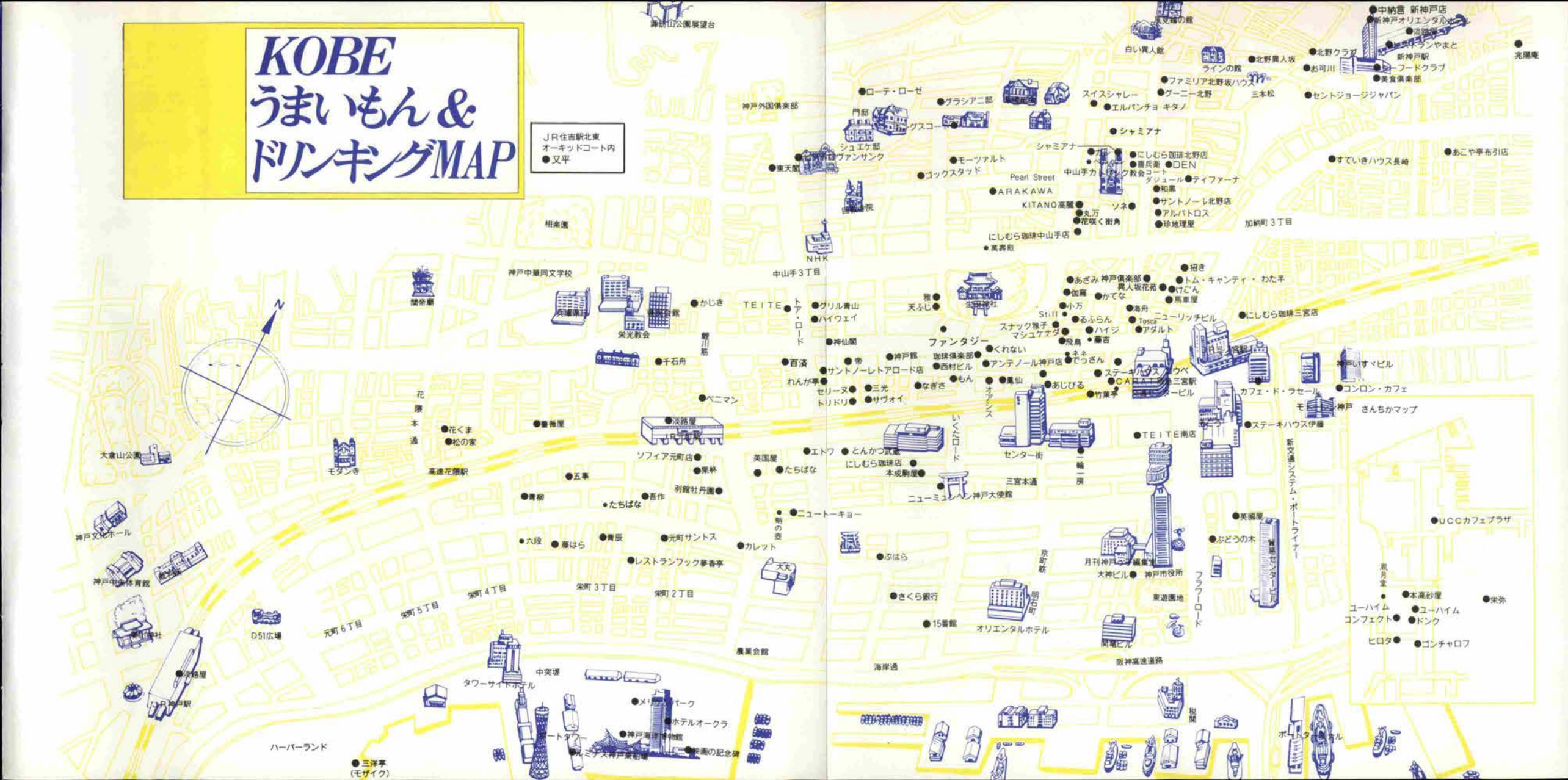
スナック アダルト
中央区北長狭通1-20-2 荏原ビル5F ☎321-5885

スナック オアシス
中央区北長狭通1-9-17 ☎333-1946
三宮興業ビル4F

カクテルバー 馬車屋
中央区加納町4-9-29 ☎331-6814
パシフィックアトラステキビル3F

スナック S.T.I.L.L.
中央区中山手通1-4-13 ☎332-5759
東門金庫

●又平



マスクメロン&清水白桃

musk Melon & Shimizu Hakuto



太陽を浴びて熟した果実から
ほとばしる果汁と、みずみずしい甘い香り。

まさに食べ頃のマスクメロンと白桃が
涼やかなゼリーになりました。



¥5,000 (20個入)



¥4,000 (16個入)



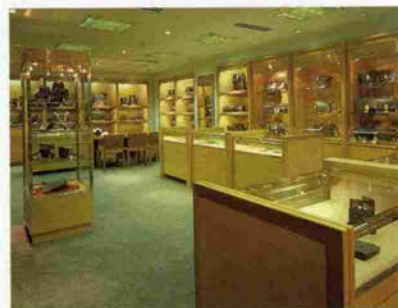
¥3,000 (12個入)



¥2,000 (8個入)

KOBE
Goncharoff
ゴンチャロフ

“温もりを基本とした空間創造” これが私たちのコンセプト。

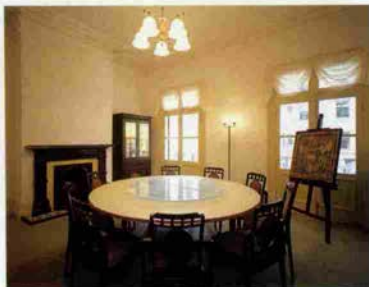


内装工事／高島屋

[ルイ ヴィトン 神戸店]



[チャイニーズレストラン
旧居留地十五番館]



家具／高島屋



神戸営業所

神戸市中央区東川崎町1-7-4
ダイヤニッセイビル18階
TEL (078) 360-0952
FAX (078) 360-0953



36.5

温もりの創造

いつも、人から。

私たちを取り巻く環境。それは自然と人間、機能性が共存する空間です。優れたデザイン性や利便性を追求するだけではなく、常に人と環境の最もよい関係を第一に考える。温もりの創造こそが、私たちのコンセプトです。

夢ある空間を創造する

卓越した職人芸の伝統と
ハイテク技術の調和を
追い求めています



新在家ROKKO 23 酒バー
“酒泉”



J R 神戸駅前 日本料亭
“しるー”



入船建装株式会社

〒657 神戸市灘区新在家北町2丁目1番2号
TEL. 078-851-3191 (代表) ファクシミリ 078-851-3444



TEL. 078-851-2841
(ROKKO 23内)



船室をあしらった店内では、ドリンクはすべて飲み放題。
歌って踊れる陽気なお店です。
カップルやグループでの語らいの場として、
パーティやコンパの会場としても最適！
是非一度、クルージング気分のパブへ足を運んで下さい。

楽しく飲んで歌って踊れる

ORIANA

- 三宮店 北野坂・風月堂の2F
☎078-392-8623
- 花岡店 花岡駅西口
フジモト神戸ビルBF
☎078-372-0086



住宅 リフォーム/店舗 設計・施工/オーダー家具

株式会社 江戸屋家具店

■本店 / 〒652 神戸市兵庫区塚本通2-1-1 TEL.078-575-3120(代)
FAX.078-575-6663

村上和子
の
吟醸トーク



左から村上和子さん、西山裕三さん、松本美樹さん

美酒「小鼓」が
軽やかに、おしゃれに
吟醸「美露」を創りました。

西山裕三さん

〈兼西山酒造場代表取締役〉

松本美樹さん

〈日本バーテンダー協会会員〉

村上和子さん

〈ジャーナリスト〉

美酒「小鼓」の西山酒造場より新しいお酒「美露」が誕生。発売に先がけて、北野町の五花堂で西山社長を囲んでの吟醸トークです。

村上 まずは「美露」の特徴を西山社長からお聞かせください。
西山 はい、「小鼓」はどちらかというと濃厚な味わいで、初めて日本酒を口にされる方には少々飲みづらいそうなんです。そんな方に日本酒を存分に楽しんでいたいただきたいという思いで「美露」を創りました。

村上 香りがすごくいいですね、フルーティで。味にも軽やかさ、華やかさがある。それでいてインパクトの強い、しっかりとしたお酒なんです。

西山 実は今回、西山酒造の女性ばかりでテストをして味を決めたんですよ。女性の感性がいちばんの特徴である軽やかさを生んだのですね。

松本 アルコールの度数はいくらぐらいですか。

西山 15・2度です。もっと軽

魔法の栓をあけてごらん

ほのかな香りは不思議の国への招待状

ライトな口あたりは あなたのハートをほんのりそめて

小粋なデザインは あなたの瞳をくぎづけにする

さあ 今夜から 美露の魔法で楽しいひとときを…



500ml ¥1,100

mondee
美露
吟醸

醸造元 西田酒造場

〒669-43 兵庫県氷上郡市島町中竹田1171

TEL (0795) 86-0331 (代表)

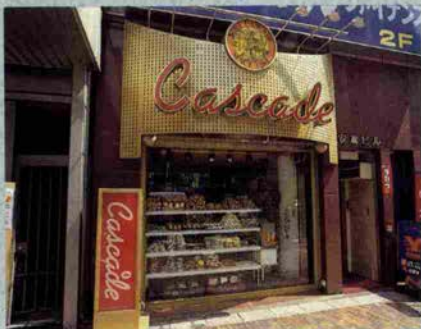
FAX (0795) 86-0202 番

くしては、という声もあるんですが、薄くしすぎることに抵抗がありまして……。造り酒屋のこだわりですかね(笑)。でも私たちがこれを失ってしまっただけなのではないかと思うんです。松本さんの印象はいかがですか。松本 確かに飲みやすいですね。そして飲んだ後にキレがある、イヤな味が残らない……。これはおっしゃった様にある程度の度数があるからでしょうね。度数が低過ぎると、味がぼやけてしまうと思います。村上 カクテルにはどうかしら。松本 素敵ですね。酸味の効いたジュースに、せつかくの香りを壊さないリキニールを加えて、名前の「露」のイメージで、きれいな水色のカクテルを創りたわ……。村上 名前といえば、私は日本

酒の魅力は中味もさることながら、ネーミングにあると思うの。その言葉の組み合わせは、日本の美を結集したものでしょう。そしておいしいお酒というのは男たちが心血を注いでしぼったしずくであるということ、それを「美しい露」と表現されたことって、ほんとに素敵だと思うんです。西山 今回はびんを白にして軽さを出し、ラベルも露を意識して七色に光るんですよ。文字は、綿貫先生にお願いしました。ところで松本さんでしたら「美露」をどんな風に演出されますか。松本 そうですね……。クリスタルのデカンタに移したり、ボトルが素敵なので、ワインクーラーに入れて出したり。生酒ではないけれど、やはり冷やして飲む方がいいでしょうね、グラス

もフルートグラスを使って……。村上 おしゃれにラッピングしてプレゼントするのもいいわね。日本酒の新しいイメージですね。西山 私は日本酒業界で、酒をファッショニ化した第一人者だと自負していますから(笑)。村上 アイデアマンの西山社長(笑)、発売はいつ頃ですか。西山 八月末を予定しています。これまで日本酒を敬遠されていた方に、ぜひ日本酒のキレのよさ、そして酔い心地を「美露」という露で実感していただきたいですね。村上 洗練された淑女のような味わいの「美露」。おしゃれなロケーションで、時を美しくまろやかに過ごしたい……。そんなカップルにもぴったり。美酒の新しいシンボル、それが「美露」ですね。

Shopping & Taste



● 手づくりの心を伝える
北野までショッピング、散歩を楽しんだ後、北野坂を下るとおいしいようなパンがウィンドウから誘いかけてきて、思わず立ち寄ってしまいます。



手づくりの心を伝える
Cascade

北野坂店／阪急三宮駅山側 (078) 332-2731



● 額縁・画材・美術作品
どこか避暑地に行きたい...まだ暑い夏。ふと心を動かされる一枚の絵。お部屋で一人夢をみるというのはいかがでしょうか。

末積製額

トアロード・大丸前 (078) 331-1309



● ティールーム
シックなムード漂う落ち着いた店内で飲むサイフォンコーヒー。くつろぎの中に深い味わいが楽しめます。



カフェ ドラセール
LASSERE

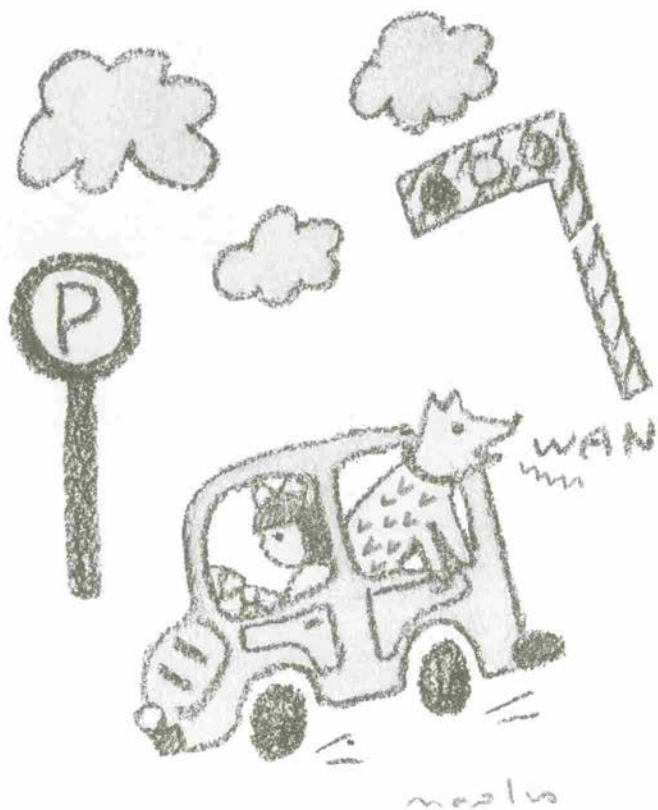
大丸カーポート店 (078) 332-6498



● アクセサリー
夏のシブアルな装いをちよつと演出...。アンティークなアクセサリーで貴婦人に変身。そんなアクセサリーを見つけたことができます。

La POMME SINCE 1873

元町一番街山側 (078) 331-6195



ビジネスに!
ショッピングに!
ご利用ください



磯上モータープール

(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)

- 収容台数 350台
- 月極駐車可
- 年中無休